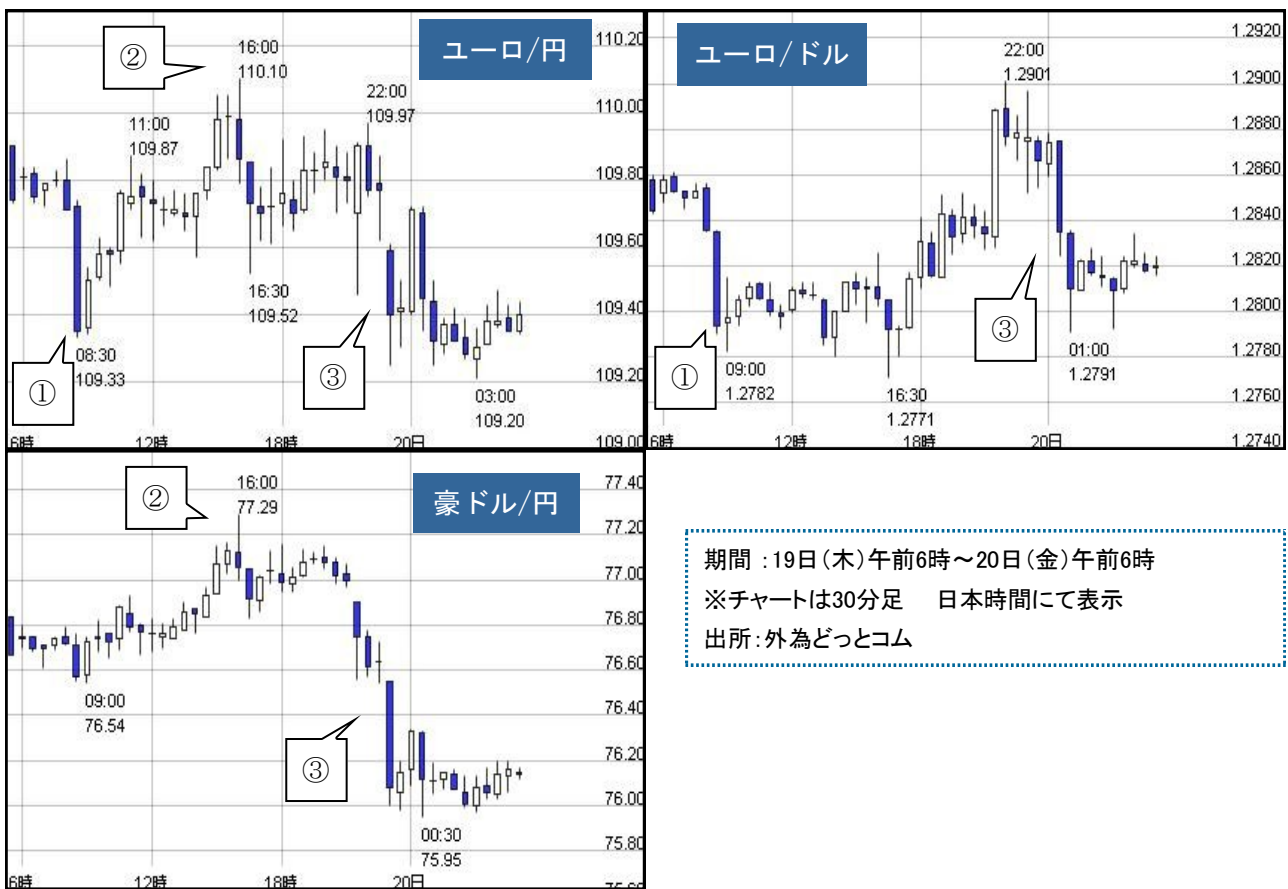


8月20日(金曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

材料難の週末取引

19日(木)の主な推移



① 18日の独シュピーゲル紙オンライン版が、「ギリシャ政府が財政緊縮を進めた結果、ギリシャは深刻な景気低迷に陥っている」とし、さらに「最悪の事態はこれからだ」と報じた事を嫌気してユーロ売りが強まるとユーロ/円は109.33円、ユーロ/ドルは1.2782ドルまで下落した。

② 19日付けの産経新聞が「日銀が追加緩和策検討に着手し、昨年12月に導入した新型オペの規模を現在の20兆円から30兆円に増やす案が浮上、期間を6カ月に延ばす可能性もある」とした事に加え、本日14時に日銀が緊急の金融政策決定会合を開くとの噂が広がった事でドル/円が上昇すると、これに連れてユーロ/円や豪ドル/円などのクロス円も値を上げた。その後、一部通信社が「日銀がきょう臨時の政策決定会合を開く可能性は低い」と伝えると円高に振れる場面もあったが、追加緩和期待に支えられる形で日経平均株価が引けにかけて一段高となると、クロス円も値を上げ、ユーロ/円は110.10円、豪ドル/円は77.29円まで上昇した。

③ 米新規失業保険申請件数が50.0万件と予想外に増加していた事を受けて、米国景気の減速懸念からドル売りが強まるとユーロ/ドルは1.2901ドルまで上昇した。その後、米8月フィラデルフィア連銀景況指数が予想以上に悪化し-7.7と2009年7月以来のマイナスを記録すると、NYダウ平均株価が下げ幅を拡大。リスク回避の動きからユーロや豪ドルを売って円やドルを買い戻す流れが強まった。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2730-1.2910ドル
 ユーロ/円 : 108.30-110.20円

本日の予想レンジ

豪ドル/円 : 75.20-76.80円

ギリシャやアイルランドの財政問題に対する懸念と米国の景気減速懸念が綱引きする形でユーロ/ドルには方向感が出にくい地合いであろう。一方ユーロ/円については、日銀の追加緩和観測が本邦株安・円高の進行を食い止めている状態で、本日も、来週開催予定の菅・白川会談に向けて追加緩和観測が継続される可能性が高く、大きくユーロ安・円高が進む事は考えにくい。ただし、政府・日銀の出方次第では急速に円高が進む可能性もあり、本日は週末の取引となる事も考えると、様子見姿勢が強まりそうだ。(神田)

昨日の米経済指標の悪化を受けて、再び米国景気の減速懸念に焦点が当たっているだけに、主要国の株価が軟調に推移する可能性があり、豪ドル/円には下落リスクがありそうだ。ただ、日銀の追加緩和観測がくすぶる中、臨時会合開催への思惑などから急激な円高も考えにくい。逆に言えば、日銀による追加緩和観測が株安・円高を阻止している状況で、政府・日銀の対応次第では急激に株安・円高に振れる可能性もあり、注意が必要であろう。(神田)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/20(金)			特になし		

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com